

## 青少年「平和と交流」支援事業（HIROSHIMA and PEACE） 報告会の実施について

参加者名：Farzaneh Nazari

派遣元加盟都市（国）：テヘラン（イラン）

行事名	「HIROSHIMA and PEACE」2018
実施日	2018年10月15日
実施場所	テヘラン平和博物館
対象者 (属性・年齢等)	テヘラン平和博物館マネージャー テヘラン平和博物館ボランティア
参加者数	約16名
報告会の 概要等	<p>会議は3部構成でした：</p> <p>1. ヒロシマの被爆についての説明、2. 日本文化、3. 核兵器と原子力のリスク</p> <p>第1部では、ヒロシマで起こったことと、ヒロシマ・ナガサキの被爆の歴史、そしてヒロシマ復興のための広範にわたる取り組みについて説明しました。</p> <p>第2部では、日本で見たこと、そして私が観察する機会を得た日本文化の異なる側面についてです。また、ホームステイの経験についても詳しく話しました。</p> <p>最も重要な第3部では、核兵器がもたらす被害と、原子力が次世代にもたらすリスク、そして最近の例として、フクシマについて検討しました。</p> <p>またこの第3部では、原子力の構造についても説明し、イランの将来的な原子力利用戦略についても説明しました。</p> <p>議論の終わりには、イランの平和首長会議事務局および活動に積極的な都市間の継続的な協力のための行動計画について協議しました。</p>
その他 参考となるURL 等を記載のこ と。	<p>広島市立大学での講義資料と、平和首長会議の2020年に向けた行動計画を利用しました。</p> <p>プレゼンテーションで使用した写真は、私が広島で撮影したものです。</p>

※写真は別ファイルで添付してください。

(提出先) 平和首長会議事務局

E-mail: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)



